

主催：京田辺市・京都府立大学文学部歴史学科

綴喜古墳群

国指定史跡記念シンポジウム

令和5年
3/26
(日)

定員
100名
(応募多数の場合は抽選)

参加費
無料

京田辺市立中央公民館
大ホール
(京田辺市田辺丸山 214)

綴喜古墳群は京田辺市から八幡市にかけて広がる古墳時代前期の古墳群です。令和3年に前方後円墳2基と前方後方墳1基からなる天理山古墳群が調査されたことをきっかけに、昨年、大住車塚古墳、飯岡車塚古墳などととも国史跡に指定されました。本シンポジウムでは天理山古墳群の調査や、京都府立大学を中心に進めている京田辺市史編さん事業の成果をもとに、綴喜古墳群が語る地域の歴史を探ります。

スケジュール

- 9:30- 開場 (VR体験コーナーなど)
- 10:00- 開会挨拶 (上村 崇 (京田辺市長))

▼第1部 国指定史跡綴喜古墳群について

- 10:05- 報告「綴喜古墳群の概要と史跡指定の経緯」上野 あさひ (京田辺市)
- 10:35- 基調講演「綴喜古墳群から考えられること」和田 晴吾 (兵庫県立考古博物館館長)

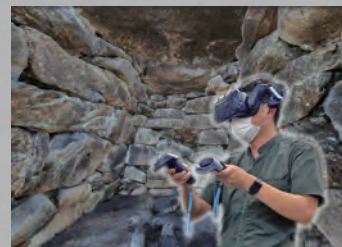
▼第2部 綴喜古墳群と京田辺市史編さん事業

- 11:35- 報告1「綴喜古墳群と京田辺市史編さん事業の成果」菱田 哲郎 (京都府立大学)
- 12:05- 昼休み (VR体験コーナーなど)
- 13:10- 報告2「東京国立博物館と飯岡車塚古墳出土品」山本 亮 (東京国立博物館)
- 13:40- 報告3「飯岡車塚古墳出土石製品の3D計測とその意義」
諫早 直人 (京都府立大学)・初村 武寛 (元興寺文化財研究所)・
二村 真司 (京都大学大学院)
- 14:10- 報告4「興戸2号墳出土家形埴輪の3D計測とその意義」
仲林 篤史 (京都府立大学共同研究員)・溝口 泰久・吉永 健人 (京都府立大学大学院)
- 14:40- 休憩 (VR体験コーナーなど)

▼第3部 ディスカッション

- 15:00- ディスカッション 司会：諫早 直人 パネリスト：発表者、川畑 純 (奈良文化財研究所)
- 15:50- 閉会挨拶 (菱田 哲郎 (京都府立大学文学部長))

同時開催！



VR体験コーナー

普段は入れない古墳の内部や、博物館にある出土品をリアルに体験できます。



三山木プロジェクトパネル展示

京都府立大学がおこなった三山木小学校との取り組みを紹介します。

申し込み方法 締め切り 令和5年2月28日(火)まで

- ①市ホームページの専用フォームに必要事項を記入し送信 件名「綴喜古墳群シンポジウム申込」、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、手話通訳・要約筆記が必要な場合はその旨を記入(申し込み1通につき2名まで)。結果は代表者に3月8日(水)以降に郵送で通知。
- ②文化・スポーツ振興課窓口を設置する申込書に記入
- ③FAXで必要事項を記入し送信

申込・問合せ先：京田辺市市民部文化・スポーツ振興課 電話：0774-64-1300 FAX：0774-64-1305
(URL：<https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000018835.html>)

